

高度化するグローバル社会で 城西大学大学院 薬学研究科が果たす役割

現在の大学生が卒業後に生きていく社会は、情報技術が高度化したグローバルな社会であることに疑う余地はありません。このために、大学院でしか得られない「博士や修士の学位」は、今後のグローバル社会で実力のバロメーターになるはずで

す。城西大学大学院 薬学研究科では、薬剤師養成課程の薬学科から高度な職業人教育を担う博士課程 薬学専攻へと繋げています。また、薬学部にある医療系の管理栄養士養成課程(医療栄養学科)から、博士前期課程の医療栄養学専攻において高度な栄養管理を担う人材を、薬科学技術者を養成する薬科学科からは薬科学専攻へと繋げ、続く博士後期課程 薬科学専攻では、きわめて高度な人材を育成していきます。このように薬学部が3学科体制で連携し、大学院では4専攻を擁するきわめて高度な専門職業人を養成できる組織は他大学にはない特徴です。40年を超える歴史ある城西大学大学院 薬学研究科は、優れた理念のもとで時代に即した高い専門性を有する教育を今後も提供して参ります。



城西大学
大学院 薬学研究科長
真野 博

城西大学 大学院 薬学研究科

JOSAI UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

大学院生 INTERVIEW

Tanmaya Akolkar さん
(アコルカ タンマヤ)
薬科学専攻
博士前期課程 2年
天然物化学講座 所属



MAHARASHTRA INSTITUTE OF PHARMACY,
Pharmaceutical Sciences 出身

天然物化学の研究ができる、城西大学の大学院を選びました。

私は、サフランの産地による成分の違いを研究しています。スパイスとして、また、医薬品としても使われるサフランですが、高価なため偽物も多く出回っています。しかし産地による特徴を明らかにすることで、偽物の判別にも役立つはずで

す。修了後は、研究室で学んだ分析技術を生かし、化学メーカーに勤めたいと考えています。

安部 滯音 さん

医療栄養学専攻
博士前期課程 1年
生体防御学講座 所属



城西大学 薬学部 医療栄養学科 出身

免疫系に特化した管理栄養士をめざし、知識を深めています。

幼い頃から食物アレルギーを経験しており、生体のメカニズムや免疫疾患の知識を深めるために大学院に進学しました。研究室では、企業と共同で、機能性食品の効果を解析し、食品による疾病予防と治療に応用する研究に取り組んでいます。将来は、臨床の現場で免疫系に特化した管理栄養士として医療に貢献したいと考えています。

村松 弘樹 さん

薬科学専攻
博士後期課程 3年
栄養生理学講座 所属



城西大学 薬学部 薬科学科 出身

食事による腎臓病の予防や改善をめざして研究しています。

修士1年次に、ラスベガスの国際学会で研究成果を発表した際、世界中の研究者とともに議論を深めたいと考え、博士後期課程に進みました。現在は、日常的に摂取できる脂質が、腎臓病の予防や改善に効果があるか、そのメカニズムを研究しています。この研究を進めることで、将来的には腎臓病の治療方法を確立したいと考えています。

光田 太郎 さん

薬学専攻
博士課程 2年
有機薬化学講座 所属



城西大学 薬学部 薬学科 出身

糖質科学分野での有機化学の発展に貢献することが目標。

ドラッグデリバリーシステムにも応用されるシクロデキストリンの有機合成が研究テーマです。有機合成では自らの手で無限にある新しい活性化化合物を合成することができ、今後も社会の発展に大きく貢献する可能性を秘めています。研究は時に困難な課題もありますが、糖質科学分野における有機化学の学術的な発展に貢献したいと思っています。



博士前期課程
薬科学専攻 [2年制]



博士後期課程
薬科学専攻 [3年制]



博士前期課程
医療栄養学専攻 [2年制]



博士課程
薬学専攻 [4年制]

学費等納付金 (4専攻共通) (単位:円)

本学卒業生の場合		初年度			2年次以降 (年額)
		入学時	10月(後期分)	合計(年額)	
学費	授業料	365,000	365,000	730,000	730,000
	施設設備費	150,000	0	150,000	150,000
	小計	515,000	365,000	880,000	880,000
諸会費(委託徴収)	共済費	9,000	0	9,000	9,000
納付額		524,000	365,000	889,000	889,000

※本学卒業生以外は入学金300,000円と父母後援会費15,000円が必要です。なお、父母後援会費については留学生は免除されます。

ティーチング・アシスタント制度

大学院生は、教員の教育的配慮の下で教育補助業務に従事すると、これに対する手当が大学から支給されます。1年間の上限は、博士課程・博士後期課程の学生は480時間648,000円、博士前期課程の学生は240時間276,000円です。

城西大学
大学院 薬学研究科

●願書請求・問い合わせ先
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

代表 TEL.049-286-2233
入試課 TEL.049-271-7711

●資料請求はこちらから [城西大学 入試情報](#) 検索

WEB サイト デジタルパンフレット

城西大学 大学院 薬学研究科

より深い専門性と、より広い視野で人々の「健康」をサポートする、スペシャリスト養成を目指して

QOL (quality of life: 生活と人生の質) に基づいた国民一人ひとりの健康増進をサポートしていくために、より高度、広範で、深い能力を持つ薬学・栄養学の専門家が、今、強く求められています。こうした社会のニーズにこたえていくため、城西大学大学院薬学研究科ではより深い専門性とより広い視野で人々の「健康」をサポートする人材を育成しています。充実した講義・演習・実習等を通して、より深く専門性を探究すること。そして、より複雑化していく「健康」を分析するため、専門以外にも領域を超えて学識を養い、多角的にアプローチすること。これら二方向からの学びによって、高度な専門性と幅広い分野に対応できる応用力を兼ね備える、バランスの取れた専門家の育成を目指していきます。そして、創薬・化粧品開発、機能性食品開発、医療等、それぞれの現場で「健康」に幅広く貢献できる、そんなスペシャリストを養成していきます。

博士前期課程

Pharmaceutical Sciences, Master's Program

薬科学専攻 [2年制]

国民一人ひとりが主観的な生活と生命の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる高度な専門職業人の育成を目指します



薬学が対象とする広範な専門分野のうち、医薬品・化粧品・機能性食品・消費生活用製品等の、ヒトが摂取または曝露する可能性がある化学物質の研究開発を扱います。安全性に主眼を置いた広い視野に立って携わることのできる高度専門職業人を対象として、学問的基盤をさらに深化させることによって高度、広範な医療に広く携わることができる人材の育成を目指します。

4つの研究分野

基礎薬学分野	化粧品機能分野
食品栄養機能分野	医薬政策管理分野

修了後の進路

●進学/城西大学大学院薬学研究科博士後期課程 ●製薬関連企業/アステラス製薬、アストラゼネカ、大塚製薬工場、中外製薬、ツムラ ●化粧品企業/マンダム、ナリス化粧品、井田ラボラトリーズ ●食品企業/森永製菓、武蔵野、わらべや日洋 ●化学・化粧品企業/東洋インキSC、小池化学 ●試験企業/アクロネット、アスクレップ ●ドラッグストア/クリエイトエス・ディー、セガミドラッグス、セキ薬品、富士薬品、マツモトキヨシ ●その他/埼玉県警、日本赤十字社血液センター など

博士前期課程

Clinical Dietetics and Human Nutrition, Master's Program

医療栄養学専攻 [2年制]

医療や人々の健康に寄与できる医学、薬学、栄養学の素養を身につけた高度な専門職業人の育成を目指します



「医療の中で活躍できる」「高度な機能を有する食品を設計できる」「食毒性を回避した食事設計ができる」高度な専門職業人の養成を主たる目的としています。チーム医療に主眼を置き、バイオサイエンスを基盤とした食、薬、毒の生体作用を理解するための基礎知識を修得し、疾病予防への応用、機能性食品の開発に携わることができる高度な専門職業人の養成を目指します。

3つの研究分野

臨床系医療栄養分野	基礎系医療栄養分野
政策系医療栄養分野	

修了後の進路

●病院/地域医療機能推進機構、東海大学医学部病院、帝京大学医学部病院、星総合病院、武蔵野病院 ●検査分析/環境総合研究所 ●薬品メーカー/全業工業、栄研化学 ●教育機関/城西大学教員 ●化粧品メーカー/シャローム ●薬局/ココカラファイン ヘルスクエア、日生薬局 ●食品メーカー/アピ、菊池食品工業 ●公務員/厚生労働省 ●福祉施設/まきば園、ふれあいの郷あげお ●保健指導機関/健康管理センター ●試験/バレクセルインターナショナル、新日本科学 など

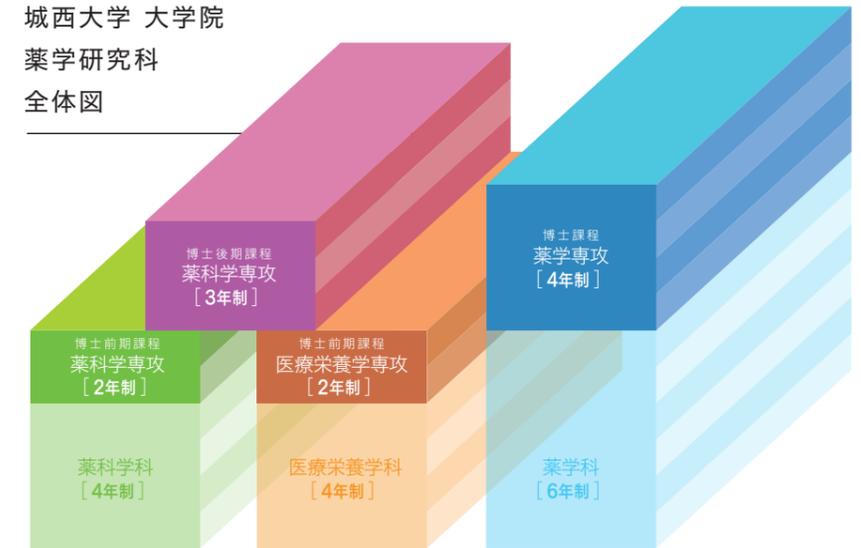
理念

建学の精神に基づき、薬学研究科の各専攻で掲げる専門的能力および豊かな人間性と社会性を兼ね備えた人材を育成し、もって人類文化の発展に寄与することを理念としています。

教育研究上の目的

個々人が主観的な生活と人生の質(主観的QOL)を高く維持し健康のよりよい状態を目指すことを支援するために、必要とされる高度な能力を有し、国際化への対応が求められる社会において、リーダーとして貢献し得る人材を育成することを目的としています。

城西大学 大学院
薬学研究科
全体図



博士後期課程

Pharmaceutical Sciences, Doctoral Program

薬科学専攻 [3年制]

Pharma-Nutrition*(薬学分野と食品・栄養分野の融合分野)の視点で医学、薬学、栄養学の領域を広く俯瞰し、人々の健康増進に寄与できるきわめて高度な専門職業人の育成を目指します



医薬品、化粧品、生活消費化学品、機能性食品を研究・開発・評価するために必要な学識と専門性を養い、きわめて高度な専門職業人の育成を目標とします。そのため、薬学分野と食品・栄養分野を融合させた、Pharma-Nutrition*という学際分野の視点を積極的に導入・展開し、生命科学の最新成果を取り入れた、より高度な薬科学の修得を目指します。

*Pharma-Nutrition=これまでの薬学的な視点に加えて、薬学分野と食品・栄養分野の中間に位置して両者を融合させた学際分野をPharma-Nutritionと呼んでいます。

2つの研究分野

高度薬科学分野	高度医療栄養学分野
薬科学専攻	医療栄養学専攻

修了後の進路

●製薬会社における医薬品・病態食の開発・研究に携わる研究者・技術者
●化粧品会社における化学品の安全性に携わる研究者・技術者
●食品会社における機能性食品・病態食の開発・研究・製造に携わる研究者・技術者
●保健・医療行政等でレギュラトリーサイエンスに携わる専門家
●大学等の教員・研究者

博士課程

Pharmacy, Doctoral Program

薬学専攻 [4年制]

薬学分野の学問的基盤を充実し、保健・医療の高度化を推進して国民一人ひとりのQOL*を支援できるきわめて高度な専門性を有する医療人の育成を目指します

*QOL=quality of life: 生活と人生の質



主に6年一貫の薬剤師養成課程を修了したうえで、さらに豊かな学識を養い、高度に専門的な業務遂行に必要な研究能力を身につけることを目的としています。近年の生命科学の急速な進歩に対応できるよう、生命科学の全体像を学び、豊かな素養を涵養し、さらに薬学の学識を深化することで、スペシャリストとしての学識と専門性を養い、きわめて高度な専門性を有する医療人の育成を目指します。

5つの研究領域

薬探索領域	生体防御領域
薬剤・製剤学領域	臨床生命科学領域
臨床治療学領域	

修了後の進路

●大学等の教員・研究者
●製薬会社における医薬品の開発・研究に携わる研究者・技術者
●化学企業における化学品の開発・研究、安全性に携わる研究者・技術者
●食品会社における機能性食品の開発・研究に携わる研究者・技術者
●保健・医療行政等でレギュラトリーサイエンスに携わる専門家
●病院等の医療機関で高度の医療業務または研究に携わる薬剤師